

# JOB REPORT

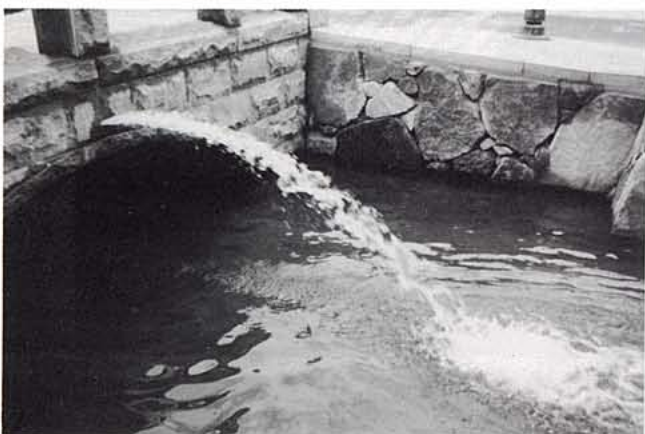
## カッパ像と握手すると、噴水が作動

下水道整備を進めることで市街地の小河川に清流を取り戻そうと、建設省の「アクアトピア都市」に指定された佐賀市は、中心部を流れる松原川にシンボルともいえる公園ふうの水辺を2年がかりで完成させた。

幅10m足らずの松原川は、大正時代には飲料水として使われ、戦後も洗濯の場として使われていたが、昭和40年代にはドブ川となって、市は12年前、松原川流域から下水道整備を始めた。

水質汚染が進んだ松原川の再生に総額64億円をかけて取り組んでいる市の浄化計画の目玉は、かつてきれいだった松原川にカッパの兵主部(ひょうすべ)一家が住んでいたという伝説にちなんで建てられたカッパ像と噴水。ブロンズや石製の像6体を川辺に物語ふうには遊ばせて、その中の長男カッパと握手するとアーチ橋の両側から噴水が噴き出す仕組みになっている。

結果、兵主部一家物語は実現し、市民の「川を守ろう」という意識も、カッパ一家の帰郷でますます根付くことになりそう。



### 仕様

- 水中ポンプ…U-233KC (口径80mm・出力2.2kW)
- 運転盤……24時間タイマー内蔵
- 自動制御……①カッパと握手すると噴水が自動的に数分間運転  
②握手しなくても30分置きに噴水が自動的に数分間運転  
③夜間はタイマーにより噴水が停止

計画者 佐賀市建設部下水道課

施工者 松尾建設(株)